

グリーン・ツーリズムにおける 農業と地域活性化

株式会社ファーム・アンド・ファーム・カンパニー
株式会社大田原ツーリズム

会社概要

(株)ファーム・アンド・ファーム・カンパニー

企業理念

自分達の夢の実現による喜びと、
社会貢献を通じた人からの感謝を通じて、感謝の喜びを共有する

経営支援事業

農業法人化

創業支援

M&A

6次産業化

企業再生

惣菜事業



下野農園



飲食事業



下野農園

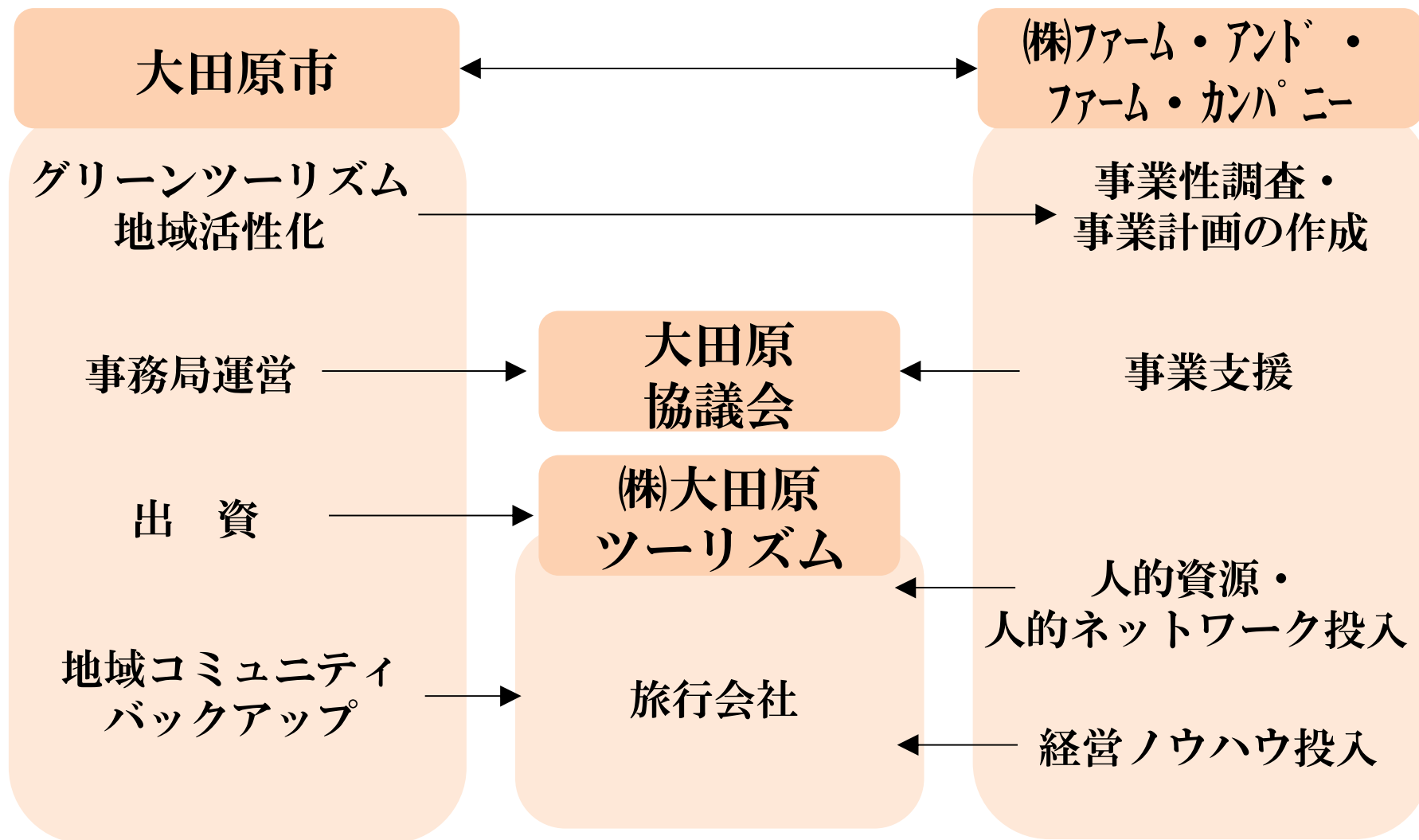


商品開発・直売事業

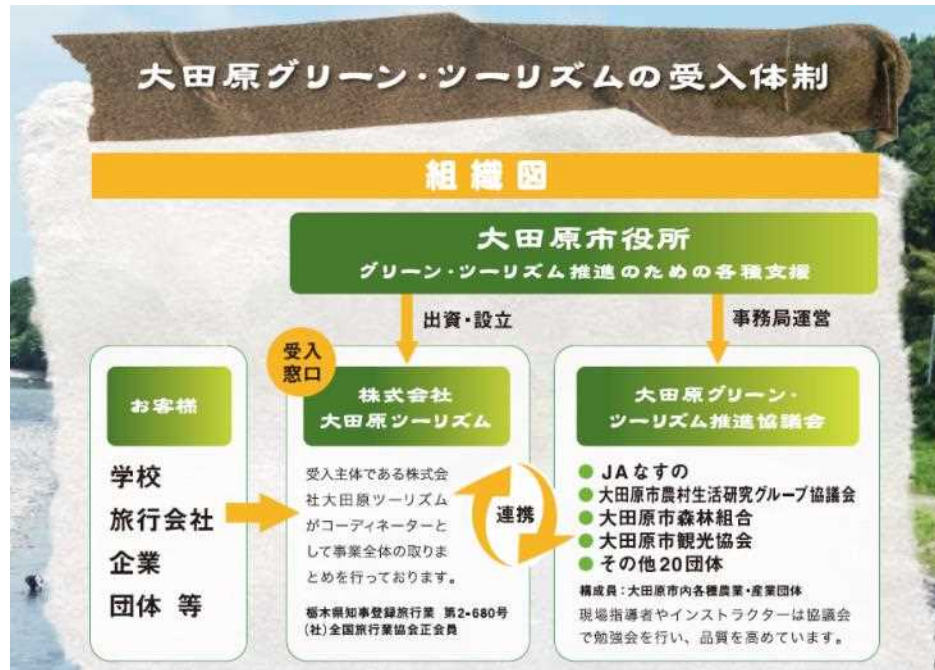


株式会社 大田原ツーリズムの設立

官民連携 PPP (Public Private Partnership)



会社概要



商号	株式会社 大田原ツーリズム
事務所所在地	大田原市本町1丁目3番3号 大田原市総合文化会館2階
役員	8名（常勤1名）
社員	5名
グリーン・ツーリズム事業	3名
商品開発事業	1名
経理・事務	1名

- ▶ 代表取締役会長 永山 林（大田原市副市長）
- 代表取締役社長 藤井 大介（㈱ファーム・アンド・ファーム・カンパニー 代表取締役）
- 取締役 黒崎 博孝（大田原市企画監）
- 取締役 吉岡 博美（大田原市観光協会会長）
- 取締役 屋代 重夫（那須野農業協同組合長）
- 社外取締役 五家 正（㈱とちぎテレビ 常務取締役）
- 社外取締役 濱野 光（㈱エフエム栃木 常務取締役）
- 監査役 佐藤 芳昭（大田原市産業文化部長）
- ▶ 現在 6,500万円（5,000万円を大田原市が出資）

大田原



大田原市のグリーンツーリズムの現状

グリーン・ツーリズムによる観光交流人口等（視察含む）

○ 平成24年度			
ツアー数	13回	交流人口	189人
○ 平成25年度			
ツアー数	58回	交流人口	806人
		宿泊	305泊
○ 平成26年度			
		交流人口	3923人
		宿泊	2236泊
○ 平成27年度			
		交流人口	6419人
		宿泊	3300泊

※ 観光交流人口・宿泊には

- ・視察や実踏なども含まれる
- ・ツアー添乗員、運転手、バスガイドは含まれていない
- ・同日中に市外と市内との体験があった場合は、市内のみ換算し、同日での重複はしない
- ・宿泊しても体験をしていない場合は、宿泊後の日は換算はしない

市内の農家民宿に賛同する農家の軒数（許可済み他、委任状を取得し、手続き中を含む）

○ 平成24年 事業開始前	0軒
○ 平成28年4月25日現在	120軒（申請中含めて）
大田原市	102軒、那珂川町 18軒

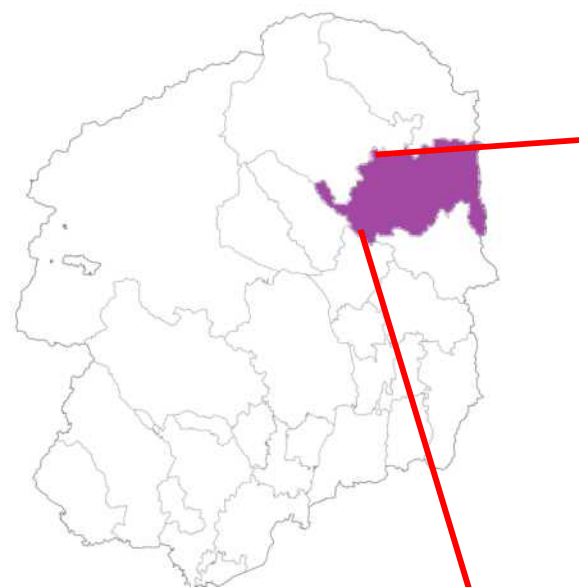
お客様が何度も行きたくなる旅行を提供していますか？

涙の出る旅行って想像できますか？

観光地でない観光こそ、本物の文化が楽しめます



栃木県大田原



栃木県白地図 大田原市を紫色で表示





日本の子供たち

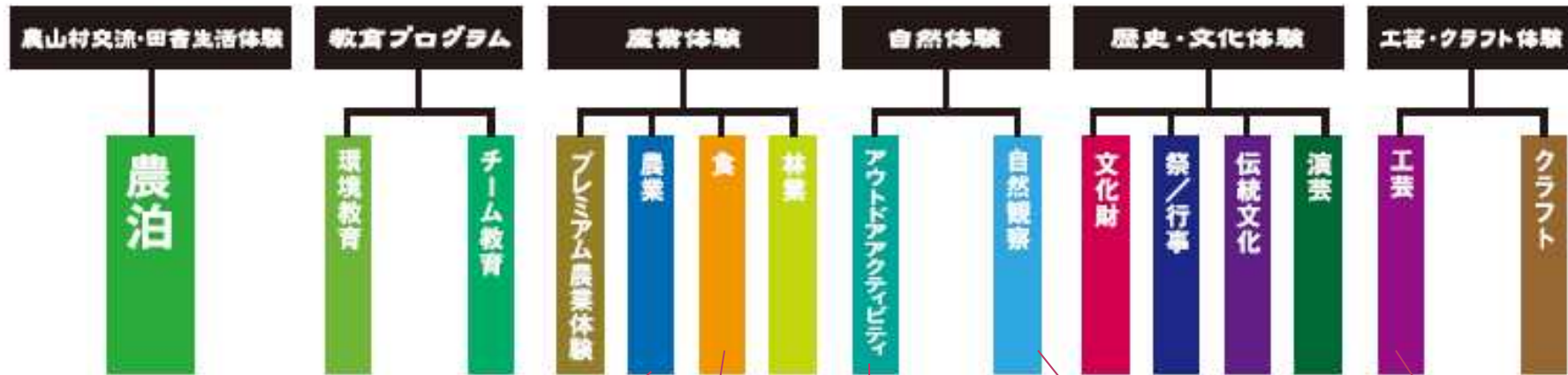
社会人・企業



アジア圏を中心としたインバウンド

大田原の体験

観光地ではないこの大田原で、田舎にある、そこにある人と地域資源を活用しながら、自分達が提供できる体験を120以上のプログラムにまとめました



例

14 田植え体験

栃木県内唯一の米生産高を誇る大田原市で田植えを体験します。小中学生には、お見上げに苗をプレゼント。田舎や学校で収穫まで苗を育てていただきます。

4～6月頃
要相談
要相談

15 梨の収穫

梨名人の指導を受けながら、キウイと梨の収穫体験・鑑賞体験をすることにより、農業に対する関心を高め、また美しい秋の風景であるさつまいもの収穫体験を通して土との触れ合いを楽しめます。

4～6月頃
要相談
要相談

16 稲刈り体験

17 ブルーベリー収穫体験

18 りんご狩り

19 ぶどう狩り

20 栗拾い

21 梅の収穫・梅干し作り

22 トウモロコシ収穫

23 さつまいも、黄きんとん作り

7 芭蕉の句碑めぐり

黒羽に逗留したその足跡をたどるながら、芭蕉の句と黒羽の自然、文化財を鑑賞し、日本の歴史と伝統、文化を学ぶことができます。

通年
20～30分
100名

8 芭蕉体験

わらじや蓑、袴作りなど芭蕉の装束から始めて、それらを身にまとい、江戸時代のお茶屋を再現し、芭蕉の句碑をめぐります。

通年
1日
100名

9 古墳巡り

古墳の作り方や古墳時代の生活を黒羽に勉強し、実際に古墳を回り、古墳時代の社会の状況を理解します。

〇〇〇〇〇
2時間
100名

10 雪蔵寺散策

雪蔵寺の心霊伝説の名所。雪蔵寺の歴史、この寺で「木彫り」の梅は数百年前「木彫り」の梅を彫っています。雪蔵寺の歴史、雪蔵寺の歴史は数百年前「木彫り」の梅を彫っています。

通年
0.5時間
50名

11 大田原七福神巡り

七福神のお参りをしながら、大田原市の文化財に親しみます。

1・5・9月の1～7日
3時間
100名

98 陶芸

99 草木染め

100 ストーンペイント

101 勾玉

102 蜜蝋キャンドル

103 小鳥笛作り

62 ラフティング体験

自然豊かな荒川をラフティングで楽しみながら、自然を満喫していただきます。

4～5月、10～11月
日中3時間～4時間
15～100名

63 カヤック体験

この地域を流れるダムのない荒川を、清流から河口まで下ります。

通年
日中3時間～4時間
20～100名

農家民泊

一番の田舎の良さは、そこにある自然と環境、そして何よりも、気さくに話せる田舎のおじいちゃんとおばあちゃん、その交流を大切にしています。



農家の家に泊まり、農家の生活体験をしながら、農業や、環境、ふるさとの大切さを体験し、田舎の人と交流しなければ得られない感動があります。



農家民泊 出会い



農家民泊 体験



農家民泊 お別れ



その他の体験



溪流釣り



B B Q

その他の体験



蕎麦打ち体験



茶道体験

その他の体験



田植え体験



有休資産の活用 廃校の活用

旧須賀川小学校

2階建ての木造校舎。

フィルムコミッションでも使用されるノスタルジーが残る建物で体験したいとの需要が多い。



宿泊ができないので、日帰りプラン。
限界集落ともいえるこの地域で宿泊型の要望があること自体が本来の目的を達成できていない

大自然の中の木造校舎 みんなであの頃へタイムスリップ！？

懐かしの木造校舎での小学校生活体験

大田原の自然の中、廃校になった、懐かし木造建築の旧須賀川小学校で、小学校時代を思い出してみませんか？大田原ならではの体験を交えながら、小学校での授業風景にタイムスリップします。まず初めに時間割をお渡しします。科目は、国語や体育、家庭科など。もちろん懐かしのお昼休みや、キャンプファイヤーなどもあります。昭和の雰囲気漂う木造校舎と、自然の中で、丸一日過ごし、小学生の頃の無邪気な気持ちを思い出すと、参加者同士のコミュニケーションを向上させ、チームの絆を深めます。

終日パターン		時間割 (スケジュールイメージ)
【HR】 10:00~10:10		ガイダンス
【1時限目】 10:10~11:00	理科	大田原の自然を満喫！ 大田原の自然を満喫するプラン、季節により順次授業。教材変更など、内容が多少異なります。
【2時限目】 11:10~12:00	家庭科	大田原名物唐辛子に挑戦！ 大田原名物、栃木三鷹(唐辛子)を使用し、オリジナル七味と郷土料理作りに挑戦します。
【お昼休み】 12:00~13:00		郷土料理(調理体験) ※2時限目で、ご自分で調理した料理をお召上がり頂きます。
【3時限目】 13:00~13:50	国語	チーム対抗俳句大会！ 松尾芭蕉が一番長く滞在した郷土大田原、芭蕉といえは俳句。そこでチーム対抗で俳句作りに挑戦！
【4時限目】 14:00~14:50	体育	最後は、みんなでゲーム！ フットサル大会。内容はオリジナルアレンジできます。※雨天の場合、体育館にてドッチボールや鬼ごっこ等(要相談)

ノスタルジックな小学校で『運動会』 みんなであの頃へタイムスリップ！？

懐かしい木造校舎の小学校で『運動会』

栃木県大田原の自然の中、廃校になった木造建築の旧須賀川小学校で、運動会を行います！木造校舎と周りの山々がノスタルジックな雰囲気を醸し出す、旧須賀川小学校。そこで懐かしの運動会をすると、心も身体もリフレッシュ。小学生の頃の無邪気な気持ちを思い出していただけるかもしれません。また、誰しも経験したことのある共通体験『運動会』を話題のネタに、参加者同士、世代を超えた会話が生まれ、自然とコミュニケーションが活性化します！

時間割 (スケジュールイメージ)
到着後、体操着に着替え、昼食。
開会式(準備、ルール説明)
◆二人三脚
◆借り物競争
◆綱引き
◆『出勤が分前』ゲーム
◆全員リレー
閉会式(結果発表、後片付け)

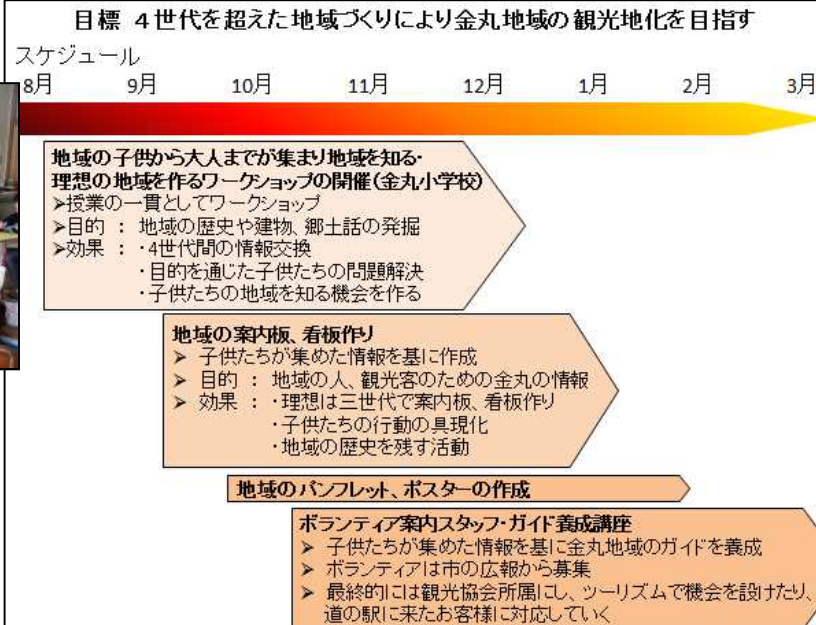
観光地域づくり



国文化財指定を受けた地域の組織化、
4世代をまたがる連携作り、ガイド育成
イベントによる知名度向上



4世代による
観光地づくり
のステップ



Jazz Concert
in 那須神社

日時 平成26年11月9日(日) 16:00~18:00
場所 大田原市那須神社(道の駅那須と一之郷隣り)

Others Event

- 横断店 (00:00~00:00)
- キャンドルライト (19:00~)

主催/金丸地区連携協議会 問合せ/0287-47-6759 (熊大田原ツーリズム内)

神社でJ A Z Z &
キャンドルライト

支援者づくり ファンド活用



マイクロファンドを活用し、1口3万円
全国から250名1,000万円の投資をしていた
だき、応援してもらっております。

投資家ツアーなどで、投資家がファンとしてツアーに参加。

農村と都会 相互の効果

- ▶ 農村にもたらされる効果
 - ▶ 大田原市のブランドイメージ向上
 - ▶ 交流を通じた地域農産物、商品のブランド化
 - ▶ 雇用の創出
 - ▶ 地域経済の活性化
 - ▶ 協力して頂いた農業経営者の所得向上
- ▶ 都会（旅行者）にもたらされる効果
 - ▶ 人間教育・子どもたちへの教育
 - ▶ 癒しの体感（リフレッシュ）
 - ▶ 美味しい食べ物を体感
 - ▶ 日本の原風景を体感できる



那珂川の鮎



棚田



料理体験



体験活動による“癒しの体感”

10年後、20年後の
この地域の歴史、文化、産業を残すために